

異文化交流研修

(春季・マレーシアエ科大学)

説明会

2023年度

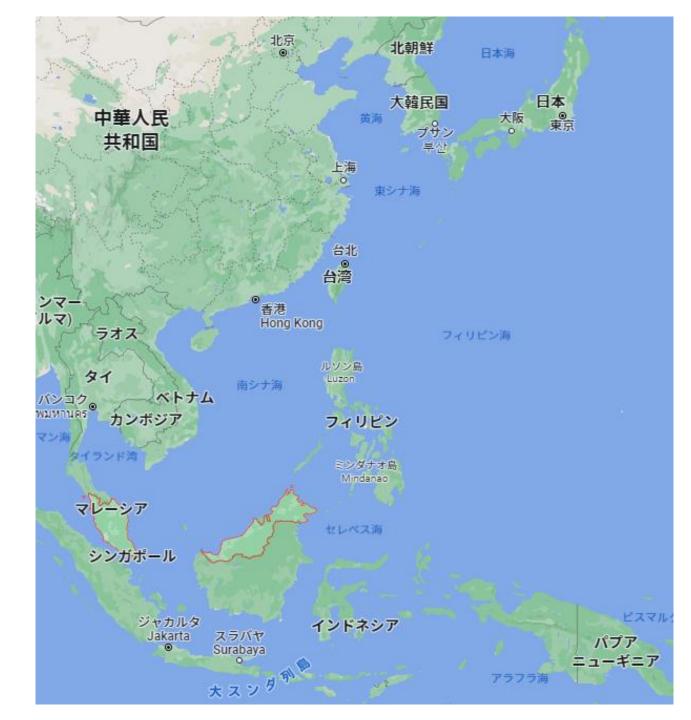




ie ie



研修地 マレーシア



マレーシア: 国概要

- 面積:約33万平方キロメートル(日本の約0.9倍)
- 人口: 3,270万人
- 首都:クアラルンプール
- 民族:マレー系(69.6%)、中国系(22.6%)、インド系(6.8%)、その他(1%)
- 宗教:イスラム教(連邦の宗教) (61.3%)、仏教 (19.8%)、キリスト教(9.2%)、ヒンドゥー教 (6.3%)、儒教・道教等(1.3%)、その他

外務省(マレーシア、基礎データ)より: https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/malaysia/data.html#section1

クアラルンプールとジョホールバル



研修先:マレーシアエ科大学

(University of Technology Malaysia/UTM)

- ・ 首都クアラルンプールと第二の都市ジョホールバルにキャンパスをもつ。
- ・マレーシアで最も古い国立理工系大学。マレーシアでの 工学系人材の3分の2を輩出。
- 人文社会やビジネス学部もあり。
- ・ 2011年にはクアラルンプールキャンパス内にマレーシア 日本国際工科院(MJIIT)設立。
- 5,000人を超える留学生が在籍。

本研修の目的

環境に配慮した持続可能な経済発展ついてマレーシアの学生とともに学ぶことを通して、チームワークと異文化間コミュニケーションの経験を積み、異文化・多文化の環境において他者と協働・共生できる自信を育む。





研修のハイライト

- UTM学生の「バディ」と3週間を通して、グループ学習だけでなく、自由時間の行動もともにする、深い異文化交流。
- 環境保護に留意した経済発展に関する施設見学やプロジェクト・ワークを通した体験型学習。
- UTMの教員による授業。英語「で」 学ぶ。
- マレーシアの二都市での研修+マラッカ歴史視察を通して、マレーシアの社会・文化の多様性に触れる。





研修スケジュール (予定)

週	場所	内容(変更の可能性あり)
1	クアラルン プール・ マラッカ	マレーシア日本国際工科院(MJIIT)訪問クアラルンプール視察企業訪問(予定)マラッカ歴史視察
2	ジョホールバル	 講義:低炭素型都市開発、持続可能な生産・消費活動、ライティングとプレゼンテーション・スキル等 Kota Iskandar (新行政地区) と開発庁訪問 チーム・プロジェクト ジョホールバル、キャンパスツアー 1泊2日のKukupリゾート滞在
3	ジョホールバル	 講義:若者による緑化運動 チーム・プロジェクト、プレゼンテーション プログラム評価 閉会式・ディナー

参加資格

- 学部生:「異文化交流研修」科目履修の上、参加可能 (履修登録は参加募集の後、教員が履修登録します)。
- 大学院生:科目として履修登録はできませんが、参加 可能です。
- ※ 私費/国費外国人留学生(正規生)は参加可能です。 ただし、マレーシア入国に観光ビザが必要な学生の場合、 日本での在留資格が翌年度7月末まで有効な学部生・院 生に限ります。
- ※ 日本語・日本文化研修留学生、交流学生等非正規生は参加できません。

履修上の注意

- 成績報告および登録は翌学期以降となるため、この成績をその年度 の進学判定や卒業判定に含めることはできません。また、卒業判定 に含まれず、翌学期以降についた卒業者の成績は、卒業後の成績証 明書に反映されます。
- 渡航前授業開始後・現地研修開始前に、自然災害、テロ、戦争、伝染病が発生した場合、外務省やWHOなど、各機関の情報を参考に大学が危機管理基準に基づきプログラムを実施するか否かを検討します。現地研修の中止を決定した場合、本科目は自動的にキャンセルとなり、単位は付与されません。

その他の注意事項はシラバス参照のこと。

参加申請と選考について

- ① 参加申請書提出:10月11日 17:00 (厳守)
 - 申請書を教務課教務第五係にメールにて提出
 - 申請書ダウンロード: https://international.hit-u.ac.jp/courses/short-term/malaysia/
 - 提出先:教務第五係【学生窓口】edu-gs.stu@ad.hit-u.ac.jp
 - ※件名:【マレーシア】参加申請書(氏名)
 - ※学籍番号のメールアドレスより提出のこと
- ② グループ面接(対面@国際研究館):10月25日 4・5限
 - 時間・場所等の詳細は参加申請者に後日連絡します。10/25は可能な限り4・5限両方のスケジュールを空けておいてください。
 - 面接は日本語と英語で行います。

研修にまつわる大きな流れ(予定)

時期	予定
9月6日 - 13日、10月4日	研修説明会
10月11日 17:00	参加者応募〆切
10月25日 4 5限	グループ面接
10月26日~11月7日	応募者へ結果通知、参加者履修登録
11月8日~2月14日	渡航前授業(水曜日4・5限、全7 回+危機管理オリエンテーション)
2月18日~3月10日	マレーシアでの研修(3週間)
3月下旬	研修振り返り会
4月下旬	留学フェアにおけるプロモーション
~ 7 月	報告書提出

渡航前授業 (予定)

11月8日	参加者自己紹介、研修概要、旅行業者による渡航手続き
11月22日	報告書作成とグループ・プロジェクト準備 (パート1)
12月13日	多文化・グローバル社会における言語 報告書作成とグループ・プロジェクト準備(パート2)
12月20日	異文化間コミュニケーションと異文化適応の基礎概念 マレーシアからの留学生のゲスト・トーク
1月10日	マレーシアの文化と社会(5限にゲスト講師によるオンライン授業)
1月24日	グループ発表
2月7日	最終確認打ち合わせ

- 水曜4時限、必要に応じて5時限まで。水曜4・5限の予定を空けておくこと。
- 上記の授業に加えて、危機管理オリエンテーションにも必須参加 (後日日時等連絡)。

旅程と費用

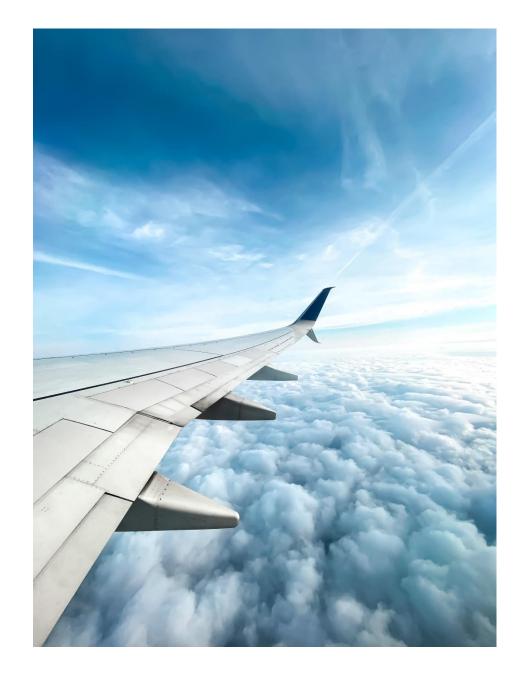


Photo by <u>Natali Quijano</u> on <u>Unsplash</u>

旅程と費用の概要

. 日程:

- 日本出発日:2024年2月18日

- 日本帰国日:2024年3月10日

· 費用: 479,746円【概算】

- · **奨学金**:参加者には、プログラム費用から海外旅行保険料を 除いた研修費用の20%相当の奨学金を一橋基金より支給予定。
 - ※奨学金申請方法等については参加者確定後に教務第五係より案内します。
 - *費用と奨学金についてはスライド16-18を参照のこと。

マレーシア研修スケジュール(予定)

日時	交通	時間	摘要	滞在
2月18日	JL723	11:20 18:25	成田空港発、空路クアラルンプールへ。 クアラルンプール空港到着。着後滞在 先へ。	ホテル
2月19日 ~3月8日			クアラルンプール(KL)およびUTM ジョホールバル(JB)キャンパスで 研修 *企業訪問、リゾートステイ、マラッ カ歴史訪問(予定)	ホテル (KL) と UTM ゲス トハウス (JB)
3月9日	JL036	22:25	バスでUTMジョホールバル(JB)からシンガポールへ移動。 到着後、出発まで、自由行動。 シンガポール発、空路帰国の途へ	
3月10日		05:55	羽田空港着。着後、解散。	

^{*}スケジュールは予定になります。

《研修費用A》

• UTMプログラム参加費

➤USD 1,700(15名以下の場合) USD1,700×148円=<u>251,600円</u>

➤USD 1,600(15名以上の場合)] USD1,600×148円=236,800円

*2023年8月14日、三菱東京UFJ銀行 キャッシュレート=US\$1/147.91

《 研修費用 B》

• 旅行代金 171,606円

※旅行代金に含まれるもの: 日本航空往復航空券費用(137,000円/東京・クアラルンプール/シンガポール・東京間 エコノミークラス)、「J-TAS海外危機管理サポート費用(1,606円(=73円x22日間))、24時間ホットライン費用、UTS取扱手数料(33,000円)

※旅行代金に含まれないもの:

- ・航空関連諸税: <u>47,220円</u>(マレーシア入国税(6,610円)、成田空港施設使用 料(3,010円)、燃油サーチャージ(36,600円)、国際観光旅客税(1,000円)
- 海外旅行保険料: 9,320円(付帯海学の場合、8,290円/傷害後遺障害1500万円・旅行変更費用特約 出国中止・中途帰国費用20万円の場合、1,030円)
- 個人的性質の出費

旅行代金+航空関連諸税+海外旅行保険=228,146円

研修費用A+B=479,746円【概算】

*現地事情並びに経済状況や原油価格などの変動により旅行代金、燃油サーチャージ、空港税、旅程が変更になる場合もございますので予めご了承下さい。

海外旅行保険

① 付帯海学 8,290円

- 傷害死亡 1,000万円

- 傷害後遺障害 1,000万円

▶ 治療 • 救援費用 1億円

• 応急治療 • 救援費用 300万円

• 疾病死亡 1,000万円

- 賠償責任 1億円

• 携行品損害 20万円

• 航空機寄託手荷物遅延 3万円

• 航空機遅延 付帯あり

② 傷害後遺障害 1500万円

旅行変更費用 - 出国中止/中途帰国費用(特約)20万円(追加)

<u>1,030円</u>

1+2=9,320円

取消料規約

【旅行部分(UTS手配旅行)】

お申し込み日から起算して8日以内。但し、受入の30日前(ピーク時にあっては40日前)以降を除く	無料
お申し込み後9日以降で受入日の40日前まで	UTS取扱手数料 33,000円
	UTS取扱手数料 33,000円
出発日の40日前以降、出発の日前まで	+ 航空券取消料50,000円
出発当日および無連絡	旅行代金 100%

^{*}ピーク時:4/27-5/6、7/20-8/31、12/20~1/7

^{*} 外国籍の学生で学生査証が必要な場合は、正式申し込み前までにお知らせ下さい。査証取得に関する状況をお知らせし、ご了承いただいた上で正式なお申込手続きをおとりいただきます。

取消料規約

	, אוריאס
2024年1月1日まで	UTM研修参加費用お支払い後、2024年1月1日まで、サービスチャージ16%および銀行の取り扱い手数料を除き、全額返金。ご返金にあたり、外国為替での差損が出る場合がございます。 Full refund after deducting 16% (10% tax + 6% service charge) of the fee paid plus currency loss and bank charges
2024年1月2日以降、 2024年2月10日まで	UTM研修参加費用お支払い後、2024年1月2日以降、2024年2月10日まで、サービスチャージ16%および銀行の取り扱い手数料を除き、研修費用50%の返金。ご返金にあたり、外国為替での差損が出る場合がございます。50% refund of the fee after reduct 16%(Tax and Service) of the fee paid+ currency loss.
2024年2月11日以降	研修費用 100%

旅行代金・研修費用 お支払い及びお手続きスケジュール

日時	内容
2023年11月13日まで	UTS取扱手数料33,000円のお支払い
2023年12月5日まで	UTMプログラム参加申込み ・2023年12月5日までに、以下のリンクからアプリケーションフォーム提出。(有効なパスポート写真面のコピーもしくは学生証コピーを提出。) http://www.utm.my/mytree/application-form-ss14/
2023年12月10日まで	UTMプログラム参加費用支払い ・マレーシア工科大学(UTM)で受付後(上記参照)、UTMから ご請求書が送付されます。その指示に従い、Flywire (credit card, paypal, etc)もしくは銀行送金でUTMプログラム参加費用をお支払 いください。 Your application will be considered, an Invoice will be sent to you with payment instruction via Flywire (credit card, paypal, etc), or bank transfer. *取消料規約について、上記でご確認ください。
2023年12月25日まで	UTS残金のお支払い

Q&A



研修情報

・ 参加申し込み:申請書を教務課教務第五係にメールにて提出

申請書: https://international.hit-u.ac.jp/courses/short-term/malaysia/

提出先:教務第五係【学生窓口】edu-gs.stu@ad.hit-u.ac.jp

※件名:【マレーシア】参加申請書(氏名) ※学籍番号のメールアドレスより提出のこと

10月11日 17:00 〆切(厳守)

- プログラムウェブサイト: https://international.hit-u.ac.jp/courses/short-term/malaysia/
- 研修と渡航前授業に関する問い合わせ:
 国際教育交流センター講師 塚田英恵(hanae.tsukada@r.hit-u.ac.jp)
- ・ 旅行部分に関する問い合わせ: UTS 上野

TEL: 03-6418-0711 E-mail: uts-group@uts-Japan.co.jp

・ 参加申請・奨学金に関する問い合わせ:教務課教務第五係

西キャンパス・本館 1 階 E-mail: edu-gs.stu@ad.hit-u.ac.jp